

平成 2 7 年

第 3 回防府市議会定例会

一 般 質 問

6 月 2 2 日 (4 人)

1 橋本 龍太郎・2 山田 耕治・3 今津 誠一・4 山下 和明

6 月 2 3 日 (4 人)

5 安村 政治・6 吉村 弘之・7 高砂 朋子・8 山根 祐二

6 月 2 4 日 (5 人)

9 田中 健次・10 木村 一彦・11 山本 久江・12 久保 潤爾
13 清水 浩司

6 月 2 5 日 (5 人)

14 田中 敏靖・15 和田 敏明・16 重川 恭年・17 中林 堅造
18 松村 学

No.	1	橋本 龍太郎
質 問 事 項		要 旨
1	<p>選挙権年齢18歳への引き下げに伴う今後の若者の政治教育、主権者教育を防府市としてどのようにしていくのか？</p>	<p>(1) 土曜授業等を利用しての子ども議会を開催してはどうか。</p> <p>(2) 市長、議員等による政治教育、主権者教育の出前講座が必要ではないか。</p> <p>(3) 模擬選挙を開催してはどうか。</p> <p>(4) 臨時期日前投票所の設置について</p>

No.	2	山田 耕治	
質 問 事 項			要 旨
1	ICT（情報通信技術）を活用した防府市の取組みについて		<p>(1) 産業・人口・社会インフラなどに関し必要なデータ分析を行い、地域に即した課題を抽出し対処できるよう、国は「地域経済分析システム（ビッグデータ）」を整備しているが、ある程度の細分化した市独自の分析活用も必要ではないか？</p> <p>(2) 総務省及び独立行政法人統計センターが、国民の皆さんに統計の便利さを実感していただけるよう、スマートフォンで手軽に統計情報を入手できる「アプリDe統計」の提供を促し、市のホームページでも紹介しているが、市としての活用方法は？</p> <p>(3) ICTを活用した観光振興への取組みを今後どう進めていこうとされているのか？</p> <p>(4) 行政が保有するデータを、誰もが二次利用できる形式で公開し、活用できることにより、新たな価値を創造していこうとする「オープンデータ」ということでは、市のホームページがあげられる。リニューアルされている中で、今後の展開をどう考えておられるのか？</p> <p>(5) オープンデータを利用する市民を巻き込む施策の一つとして、地域の課題を情報共有することも必要と考える。市民と協働して防府市の課題を解決する防府市サポーターの登録制度を提案するが如何か？</p> <p>(6) 子ども達への情報教育の考え方と今後の進め方を教育指導という視点も含めどのように考えておられるのか。</p>

No.	3	今津 誠一
質問事項		要 旨
<p>1 富海地域の再生 伊藤・井上両公上陸記念公園（仮称）の整備</p>	<p>防府市は地方創生の具体策の中にとりわけ富海地域の再生を掲げている。 その富海地域では、再生のための「5つの取組」が着実に進められ、いま大いに活気付いている。</p> <p>3月20日、伊藤・井上両公上陸遺蹟碑と入本屋宅跡は、史跡の記念物として、防府市の文化財に指定された。よって、現在更地となっている入本屋宅跡の整備が重要な課題となってきた。</p> <p>県は地方創生の具体策として「明治維新150年に向けた観光需要の拡大」を掲げている。それと整合した計画を策定し、2018年までに実施して戴くことを切にお願いしたい。</p>	
<p>2 なごやふぐ捕獲・販売の解禁</p>	<p>いま山口県では、なごやふぐの捕獲・販売が禁止されている。これにより、漁業者の収入に大きな影響を及ぼしている。捕獲・販売の禁止は平成7年、厚生省の通知によりなされた。これに対し、長崎大学と長崎県、熊本県の漁協及びそれぞれの県の水産部は協力して、なごやふぐの身の毒性検査を行い、無毒な身に毒が移行するメカニズムを解明し、その無毒性を証明した。厚労省もこれを認めたため、捕獲・販売が解禁となっている。</p> <p>岡山県、香川県もこれに倣って解禁となっているが、山口県も山口県海域で捕獲されるなごやふぐの無毒性を証明し、厚労省に解禁を求めるべきであるが、防府市も水産業振興のため、又漁業者の収入安定のため、県に強く要請すべきと思うがいかがか。</p>	

No.	4	山下 和明		
質 問 事 項			要 旨	
1	雨水による浸水対策について		古浜排水区の整備計画について	
2	留守家庭児童学級について		留守家庭児童学級の拡充と放課後児童支援員の体制と処遇について (1) 一学級の人数が50人から40人以下となるが、学級数の増設、それに伴う放課後児童支援員の補充計画について (2) 保育料の納付について (3) パソコン、印刷機（プリンター）の設置について	

No.	5	安村 政治
質問事項		要 旨
1	リフォーム助成事業について	<p>(1) 住宅リフォーム助成事業の平成27年度申込件数と金額について</p> <p>(2) 住宅リフォーム助成事業の今後の計画、特に助成額や予算の増額が必要と考えるが、市の取組の予定は。</p> <p>(3) まちなか店舗リフォーム助成事業の平成27年度の申込件数と金額について</p> <p>(4) まちなか店舗リフォーム助成事業の申し込みが低調な理由をどのように分析しているか。今後の計画、特に適用区域を全市に拡げるべきではないか。</p>
2	農業・水産業の振興について	<p>農業・水産業のブランド化と6次産業化について</p> <p>農業及び水産業でブランド化できた品目は何件あり、それに対する市の取組や助成はどのようなものがあったか。</p> <p>今後、道の駅などで生産者が直販できる仕組みづくりが必要と考えるが、生産者の意見聴取や事業説明会の予定は。</p> <p>併せて、6次産業化できた事業内容を教えていただきたい。</p> <p>特に向島の蓬莱アサリについては、養殖を開始して軌道に乗りかけている事業であるので、積極的な支援が必要だが、ブランド化と6次産業化、販路開拓に関する支援策や補助金について教えていただきたい。</p>
3	学校や公園の遊具の整備と点検について	<p>(1) 学校及び公園の遊具の点検について</p> <p>点検は誰が行い、年何回実施しているか。その結果、修理や塗装は誰が行い、費用負担はどのようにしているか。</p> <p>(2) 遊具の点検や修理の平成27年度予算額について</p> <p>学校別や公園別の必要額の把握方法と、予算額を教えていただきたい。すぐに修理していないものが見受けられるが、すぐにやるべきではないか。</p>

No.	6	吉村 弘之		
質 問 事 項			要 旨	
1	桑山公園整備について		(1) 桑山の周辺道路、特に大楽寺付近交差点の改良ができないか。	(2) 各遊具がある場所の駐車場を整備拡充することはできないか。
2	市民ふれあいベンチ設置事業について		(1) 過去3年間のベンチの寄付状況は。	(2) 市民がふれあうことができるベンチの設置を市民の参画や寄付で事業として制度化できないか。
3	記念植樹用地の確保について		(1) 記念植樹の現在までの本数と場所はどのように決定してきたのか。	(2) 今後整備される道の駅「潮彩市場」周辺の公園や佐波川新橋地区都市再生整備計画事業、新橋地区かわまちづくりなどにおける記念植樹用地確保はできないか。
4	英雲荘の整備計画と活用について		(1) 英雲荘の現在の入館者数と有料施設利用状況について	(2) 英雲荘の整備経過と今後の整備計画について
			(3) 駐車場のカラー舗装化とトイレの活用について	

No.	7	高砂 朋子			
質 問 事 項			要 旨		
1	指定管理者制度における労働環境の整備について		<p>(1) 指定管理者の労働関係法令の遵守については、どのように把握されているのか。</p> <p>(2) 労働法令の遵守や雇用・労働条件への配慮規定の協定等への記載状況は。</p> <p>(3) 適正な労働条件の確保のために、社会保険労務士等、専門的知見を有する外部有識者の視点を活かした労働条件審査の導入が必要では。</p>		
2	中小企業振興の施策について			<p>平成27年3月、防府市中小企業振興基本条例が制定されたことを受け、今後、総合的かつ計画的に中小企業振興のための施策が展開されていくことを期待するが、これまでの支援制度に加え、事業承継、人材育成への支援拡充を視野に計画の策定を望みたい。ご所見を伺う。</p>	
3	福祉タクシー利用券の充実について			<p>(1) 身体障害者手帳1～3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級の方に交付されている福祉タクシー利用券だが、近年の利用状況、返還状況を伺う。</p> <p>(2) 1乗車1枚500円の助成となっており、未利用分は返還となっているが、利用者の中には、遠隔地からの利用で2枚利用を望んでおられる方もある。障害の程度、利用回数もそれぞれであり、「1乗車2枚まで可能」にするなど、もう少し柔軟な対応をすべきではないか。</p>	

No.	8	山根 祐二		
質 問 事 項			要 旨	
1	クリーンセンター運営状況について		<p>(1) 各種のごみが大幅に減り、資源ごみ回収量は増えているようだが、この状況に対する所見と27年度以降の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 平成26年度、再利用家具の展示と無料譲渡の結果は、市広報には708件申込、208点譲渡とあるが、総展示個数は何点あり、申込無しの商品はどうなるのか。</p> <p>(3) 家具等の修理体制はどのように行っているのか。</p> <p>(4) 多くの市民に展示会へ来ていただくため、時には、土曜・日曜にも実施し、配送は市が希望者に有料で行ってはどうか。</p>	
2	道路管理について		<p>(1) 認定外道路における道路維持補修等は、市が必要な資材を支給し、地元住民で行うこととしている。現在該当する道路はどのくらいあるか。また、補修資材給付の実績はどうか。</p> <p>(2) 市が資材支給して、市民が補修工事をするのは、住民の高齢化もあり、困難との声がある。自治会の要望に対し、市が直接補修工事をしてはどうか。</p>	

No.	9	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
1	市内の芸術品・文化財の展示施設の充実について		<p>(1) アスピラートの展示ホールの設備を充実すべきではないか。 ア 照明 イ 空調設備 ウ 消火設備</p> <p>(2) 防府市文化財郷土資料館の充実をすべきではないか。 ア 展示スペース拡大 イ 展示品の充実 ウ 設備面</p> <p>市の総合戦略策定にあたり、新たな視点で中長期の戦略を考えていくことが必要である。国の提供する「地域経済分析システム（RESAS（リーサス））」や「地域経済構造分析」、「産業連関分析」等の手法を取り入れ、地域内経済の分析を行い、地域の持続的成長の戦略を策定することが必要ではないか。</p>
2	地方創生について		

No.	10	木村 一彦		
質 問 事 項			要 旨	
1	行財政改革について		(1) 「効果額」の算定について	
2	新しい公共交通サービス網の確立について		(2) 職員給の減少と賃金及び委託料の増加について	
3	中小企業振興基本条例について		(3) 自治体としての「自治力」の低下と住民サービスの後退について	
			(1) 切畑におけるデマンドタクシーの中間総括と今後の方針について	
			(2) コミュニティバス（タクシー）を含めた多様な展開による全市的な新交通システムの確立について	
			(1) 8月施行に向けての準備状況について	
			(2) 振興会議の開催について	

No.	1 1	山本 久江		
質 問 事 項			要 旨	
1	高齢者等の外出支援対策について		高齢者外出支援事業の拡充について	
2	若者の定着支援について		(1) 若者の雇用支援対策について (2) 市奨学資金貸付制度の拡充について	
3	地区公共用施設の整備について		地区公共用施設補助金の見直しについて	

No.	1 2	久保 潤爾	
質 問 事 項			要 旨
1	臨時財政対策債について	<p>防府市における臨時財政対策債の残高は、平成27年度末で、約178億円となっており、増加の一途を辿っている。</p> <p>臨時財政対策債は、元利償還金が後年に基準財政需要額に算入されるので、地方交付税の代替財源とされるが、起債を行うのは自治体であり、返済義務があるのも当然自治体である。</p> <p>そのように考えれば、臨時財政対策債は赤字地方債ととらえることもでき、起債にあたっては、慎重な姿勢が必要だと考えるが、執行部のご所見を伺う。</p>	

No.	13	清水 浩司
質問事項		要 旨
1 健康寿命を延ばす具体策について	<p>(1) 平均寿命より、健康寿命を延ばす必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>(2) スポーツと体力の関わりについて</p> <p>(3) 健幸ポイントの導入について具体的に検討してみてもはどうでしょうか。</p>	

No.	14	田中 敏靖
質問事項		要 旨
1 道路行政について	<p>(1) 既存電柱の建替について</p> <p>ア 中国電力等が定期的に建替をされているが、その際、道路敷外にお願いできないか。</p> <p>イ 既存電柱移設時負担金の減免や助成はできないか。</p> <p>(2) 市道認定申請及び帰属道路手続きの簡素化は考えられないか。</p>	
2 都市計画の見直しについて	<p>線引きの見直しについて</p> <p>ア 市街化調整区域内で開発が進んだ地域を市街化区域に編入の考えはないか。</p> <p>イ 国・県道に接する土地や市道で幹線道路に接する道路の規制緩和は考えられないか。</p>	
3 新たな学校の誘致等について	<p>新たな学校の誘致は考えないか。</p> <p>たとえば防衛大附属高校を北基地周辺に呼ぶとか、シルバー学校を作り技術の伝承を行うなどは考えないか。</p>	

No.	15	和田 敏明		
質問事項			要 旨	
1	議員定数について		<p>活発な審議・討論を損わないために常任委員会の数から定数を決めるべきと考えるが、市長のお考えを問う。</p>	
2	利用者のための多目的広場の整備について		<p>(1) 防府市スポーツセンター運動広場及び向島運動公園多目的広場の現状と安全確保について</p> <p>ア 危険な状態が放置されていた原因は？</p> <p>イ 指定管理業者の選定審査の内容通りの運営が実施されているか？</p> <p>ウ 利用者と指定管理者と市との連携は取れているのか？</p> <p>エ 危険箇所の対応を早急を実施して、利用者の安全を確保する必要があるのでは？</p> <p>(2) シェルターの設置について</p>	

No.	16	重川 恭年		
質問事項			要 旨	
1	ゾーン30設置後の効果について		<p>市内に於いてゾーン30路線が設置されているが、これの指定後の状況と効果についてお伺いしたい。</p>	
2	地区担当職員の活動実績について		<p>地区担当職員制度が実施されているが、これの実績と効果、市民の評価等をお伺いしたい。</p>	
3	学校給食と食の安全について		<p>学校給食に於ける食の安全並びに地産地消実績と課題についてお尋ね致したい。</p>	

No.	17	中林 堅造
質問事項		要 旨
1 イベントの招致による集客について	将棋名人戦の招致について 英雲荘あるいは芳松庵を対局場所として、来年あるいは再来年に向けて招致してはどうか。	

